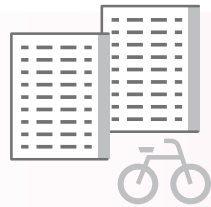


実現
させよう市民の願い
金子あきよが9月議会で要求公園に
時計をつけて

御嶽公園、明花公園、浦和向公園は長年住民から時計設置要望が出されています。市が設置を検討するとしている2500㎡よりいずれも面積が広い公園ばかり。1日も早く設置を！

市営住宅を
増やして

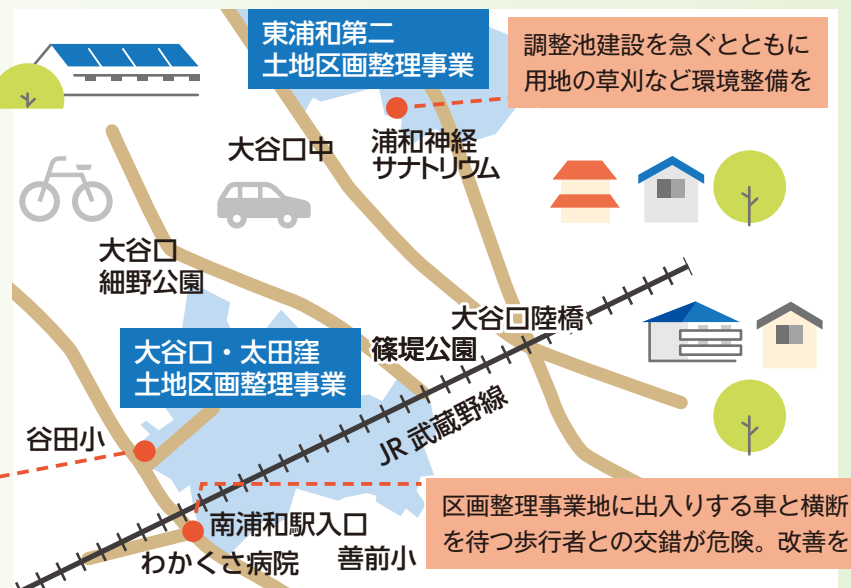
市は、市営住宅は現状戸数維持の方針ですが、高齢者や障がい者など住宅確保要配慮者の入居を拒まない市営住宅を増やして、支援の体制を拡充するべきです。

土地区画整理事業
着実にすすめて

東浦和第二土地区画整理事業、大谷口・太田窪土地区画整理事業はいずれも始まってから約30年。計画と進行状況を周辺住民にも知らせていくことを求めました。



整備途中の都市計画道路。安全確保のために暫定的な歩道整備や路面表示を

義務教育学校「武蔵浦和学園」
入札不調に！

義務教育学校「武蔵浦和学園」建設事業の入札が二度にわたって不調となっています。私は市民団体とともに、現在の計画を撤回し、校舎併設型小中学校を作る計画に変更すること、沼影小、浦和大里小、内谷中は存続させることを求めています。建設に要する費用の縮減にもつながり、校長先生、保健室の養護の先生、給食栄養士、図書館司書などが各校に配置され、教育環境も向上します。

巨大な義務教育学校ではなく、適正規模の小中学校の建設を！と引き続き求めています。

公民館の改修計画変更
に異議あり

市は2024年2月議会の中で突然「予防保全」の考え方の変更を表明。文蔵公民館、谷田公民館などの改修・修繕工事が延期されました。公民館利用者から「トイレの洋式化だけでも先にやって」と声が上がっています。私は決算特別委員会で財政局を追及、資産経営課長が「予防保全工事を延期しても、個々のトイレなどについては維持改修費の方で要求を上げてもらう形になる」と答弁しました。トイレの洋式化、エアコンの修繕など、必要な工事はどんどん要望していきましょう。

さらなる
拡大の方向

放課後子ども居場所事業

子どもたちの放課後に安心を



2024年度からモデル事業として始まった「放課後子ども居場所事業」。市は放課後児童クラブの待機児童をゼロにしています。しかし「定員なし」で学校の空き教室などに100～200人を集める「居場所事業」は「学童保育」ではありません。私は居場所事業を視察し、実態を見て驚きました。

「居場所」というより…子どもの「置き場所」？

居場所事業には、これまでのクラブ室では入りきれない数の子どもが登録しています。夏休み期間にはさらに利用が増え、対応する職員を配置することが困難な状況です。子どもたちには放課後児童クラブのような「活動」が保障されず、子どもの「置

き場所」のようです。

2026年度からは「本格実施」となり、9か所の公設児童クラブが廃止、12か所の居場所事業開設が予定されています。このまま事業を進めるのではなく、子どもの放課後にふさわしい環境へ改善する必要があります。

増やされる放課後子ども居場所

2024年度 4校	栄(西)／鈴谷(中央)／岸町(浦和)／新和(岩槻)
2025年度 9校	七里(見沼)／与野本町(中央)／常盤(浦和)／針ヶ谷(浦和)／大谷場東(南)／中尾、道祖土、尾間木(緑)／上里(岩槻)
2026年度 12校 (開設予定)	植竹(北)／芝川(大宮)／大砂土東、大和田(見沼)／神田、大久保(桜)／上木崎、本太(浦和)／文蔵(南)／三室、大門(緑)／西原(岩槻)

「2030さいたま市総合振興計画基本計画改定案」を批判

自治体本来の課題にとりくむ計画に
公共と福祉

総合振興計画は、10年間の方向性を定める市政運営のもっとも基本となる計画です。9月議会で中間見直しに伴う改定が行われました。2都心4副都心を中心とした開発が無反省に進められた結果、市の人口は増加してきましたが、子育てや医療のインフラ不足、公共交通の偏在など市民生活に支障をきたしています。改定案でも、開通も見通せないリニ

ア中央新幹線を前提に「東日本の中枢都市」としての役割を強化し、財政状況から公共施設縮減の必要性を強調、介護や福祉における理念を後退させ、行政の責任を地域や民間に転嫁しています。

私は特別委員会でこうした計画の方向性を批判、討論で住民福祉の増進という地方自治の原点に立ち返ることを求めました。

日本共産党 さいたま市議会議員(南区)

金子 あきよ

お問い合わせ

金子あきよ生活相談所

さいたま市南区南浦和2-31-13 青木ビル
TEL 881-2487 FAX 881-2497さいたま市議団
YouTube

日本共産党さいたま市議会議員団 議会報告 TEL048-829-1811 FAX048-833-8165

発行：日本共産党さいたま市議会議員団 2025年11月 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤6-4-4 さいたま市役所内
市政についてのご要望、ご意見は、日本共産党さいたま市議会議員団にお寄せください。ホームページ www.jcp-saitama.jp

あなたの願いによりそう、支える。
そんなさいたま市政へ

一歩ずつ確実に **前進**

- 岩槻区で投票所増設を実現。投票率が上がりました。
- 応急手当て講習でASUKAモデル上映実施実現。
- 4年連続犬猫の殺処分ゼロ達成。

市民のために提案



8月29日、「危険な暑さから市民の命を守るための申し入れ」で、エアコン購入助成、学校給食調理室へのエアコン設置などを求める。

- 救急車への電動ストレッチャー導入を提案！
- 市は「厳しい財政状況で収支不足」と言いながら、毎年黒字。市民に分かりやすく説明するべき。
- 2026年度から県水が21%値上げ！市の水道料金を値上げしないよう求める。
- 電動アシストなど、自転車が大型化しているため、市内駐輪場の安全を確保して！
- 香りの害、「香害」って知っていますか？香害を知らせるポスターの周知と、人がいるときに公共施設での総揮発性有機化合物(TVOC)の測定を。



相次ぐ入札不調

武蔵浦和学園、中央区役所＋周辺施設再編、次世代型アリーナ構想

さいたま市は相次ぐ入札不調のおもな理由に「物価高騰」をあげていますが、そもそも積算が甘かったことが明らかに。市は一般的な戸建て住宅建設用の指標を使ってきましたが、大型建築物工事に用いられる指標は約3倍と乖離しています。これを適用すると、中央区役所周辺施設再編事業の予算は314億円から560億円以上にふくれあがります。事業費増額を前提にこのまま事業を続けるのか。大型公共事業の見直しが必要です。

市立病院が41億円の赤字

さいたま市立病院(緑区)の2024年度決算は約41億円の赤字でした。患者が増え、収入も増えましたが、物価高騰で、医薬品の仕入れや施設の維持管理など、様々な費用が膨れ上がったことが赤字の主な原因です。国の診療報酬引き上げが物価高騰等に追いついておらず、市立病院の経営努力だけでは解決できません。私たちは国に診療報酬引き上げなど対応を求めるよう、また当面は市からの支援を拡充するよう提案しました。



託された思いを届ける



10月1日、520項目の「2026年度予算編成及び市政運営に関する要望書」を市長に提出

各区の要望を提案

- 西区** 宮前町に計画中の産業集積拠点について、林の伐採は一部にとどめ、公園建設部分の樹木を残し、保存すること。
- 北区** 大砂土小学校の大規模化・過大規模化解消のため、新設校を計画すること。
- 見沼区** 七里駅北側の桜の木を市の責任で守ること。
- 大宮区** 大宮駅東口から区役所への「無料のシャトルバス」を整備すること。
- 中央区** 与野体育館にエアコンを設置すること。
- 浦和区** 調公園のじゃぶじゃぶ池を、子どもが遊べるように復活させること。
- 桜区** 中浦和駅前に公衆トイレ及び図書館の返却ポストを設置すること。
- 南区** 笹目川遊歩道にベンチを設置するなどの整備を進めること。
- 緑区** 東浦和駅近くに新しくできる商業施設に期日前投票所を設置すること。
- 岩槻区** 「おりづる号」を大型バス車両に変更するか、2台に増やすこと。

あなたの願いに応える会派は？

請願名		共産	立憲	公明	さいたま市民	市民団	維新	みらい	無所属
6月議会	所得税法第56条を廃止するよう国や政府機関に意見書を上げること	○	×	×	×	×	×	×	×
	3000人規模の義務教育学校「武蔵浦和学園」建設計画の見直しを求めます	○	×	×	×	×	×	※	×
9月議会	生活保護を躊躇なく申請できるよう、市民への広報・周知の拡充を求める	○	×	×	×	×	×	×	×
	国に「消費税のインボイス制度見直しの意見書」提出を求める	○	○	×	×	×	×	×	×

2025年度 市民の願い(請願)に対する各会派の採決態度 ○…採択 ×…不採択 ※…一部退席



金残高(市の預貯金)は合計949億円と、前年度比で83億円も増えました。

一方で、物価高騰が続く中、高齢者の約7割が所得10万円未満の厳しい生活を強いられています。そのため昨年度は市民生活を支援する政策、とくに高齢者への支援が不可欠でした。ところが、市の支援策は「デジタル地域通貨の活用」など、高齢者には届きにくい内容。また、公設民営方式で運営されていた「グリーンヒルうらわ」が廃止され、入所者や多くの高齢者から、寂しさと戸惑いの声が相次ぎました。さいたま市は今こそ、黒字を生かして市民に寄りそう政策を推進すべきです。

毎年、「厳しい財政状況」と言い、昨年度は「252億円の収支不足」と発表したさいたま市。多くの市民から「さいたま市の予算は大丈夫か」という不安の声が寄せられましたが、フタをあけてみると、2024年度のさいたま市の財政は実質収支55億円の黒字で、積立基金を含めると実質140億円もの余剰を達成。基